

授業名	英語教育ゼミナール A-1	開講年度学期	2024 年 1 期
担当教員	太田 光春		
主要テーマ と 学習目標	<p><b>【主要テーマ】</b> 中学校・高等学校英語科教員に相応しい見識、英語力、指導力及び評価の視点を身に付ける。</p> <p><b>【授業概要と目標】</b> 学習指導要領及び学習指導要領解説の理解を深め、外国語科の目標である「コミュニケーション能力の育成」を踏まえた<u>学習到達目標の設定</u>、その達成のための<u>言語活動の研究</u>、その達成状況を把握するための<u>妥当性・信頼性のある評価の研究</u>、<u>自律した学習者を育てるための指導と評価の研究</u>、<u>動機づけの研究</u>、<u>Authentic な教材の活用等</u>についての研究を行い、議論することによって、それらについての理解を深める。その際、<u>英語を使用言語</u>として、学生の英語による<u>コミュニケーション能力の向上</u>と学習指導要領を踏まえた<u>授業実践力の向上</u>を図る。</p> <p><b>【目標達成のための授業の方法】</b> 教員と学生、学生と学生の<u>インタラクション</u>を軸にして、<u>議論</u>を中心に学習を進める。学生は、必要に応じて<u>マイクロ・ティーチング</u>をする。教材は日本語で書かれたものと英語で書かれたものの両方を用いるが、<u>授業での使用言語は英語</u>である。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 平成29年3月改訂小学校学習指導要領第10節外国語及び第4章外国語活動について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>3 平成20年3月改訂中学校学習指導要領第9節外国語について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>4 平成29年3月改訂中学校学習指導要領第9節外国語について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>5 平成21年3月改訂高等学校学習指導要領第8節外国語について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>6 平成30年3月改訂高等学校学習指導要領第8節外国語について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>7 平成30年3月改訂高等学校学習指導要領第13節英語について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>8 国の示す「評価の観点」について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>9 国の示す「外国語の評価の観点」について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>10 評価の Validity, Reliability, Practicality, and Washback Effect について、インタラクションを軸にして理解を深める。</li> <li>11 「外国語学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 SAG」について、ペア・ワークやグループ・ワークを通して理解を深め、発表する。〈Basic User Level〉</li> <li>12 「外国語学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 SAG」について、ペア・ワークやグループ・ワークを通して理解を深め、発表する。〈Independent User Level〉</li> <li>13 「外国語学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 SAG」について、ペア・ワークやグループ・ワークを通して理解を深め、発表する。〈Proficient User Level〉</li> <li>14 これまでの学習についての省察と報告</li> <li>15 学習のまとめ、レポートの提出等</li> </ol>		
成績評価	1 議論や発表 2 学習の振り返り報告と指導案等の成果物		
使用教科書	学習指導要領、学習指導要領解説、CEFR 等		

授業名	英語教育ゼミナール A-2	開講年度学期	2024 年 2 期
担当教員	太田 光春		
主要テーマ と 学習目標	<p><b>【主要テーマ】</b> 中学校・高等学校英語科教員に相応しい見識、英語力、指導力及び評価の視点を身に付ける。</p> <p><b>【授業概要と目標】</b> 学習指導要領及び学習指導要領解説の理解を深め、外国語科の目標である「コミュニケーション能力の育成」を踏まえた<u>学習到達目標の設定</u>、その達成のための<u>言語活動の研究</u>、その達成状況を把握するための<u>妥当性・信頼性のある評価の研究</u>、<u>自律した学習者を育てるための指導と評価の研究</u>、<u>動機づけの研究</u>、<u>Authentic な教材の活用等</u>についての研究を行い、議論することによって、それらについての理解を深める。その際、<u>英語を使用言語</u>として、学生の英語による<u>コミュニケーション能力の向上</u>と学習指導要領を踏まえた<u>授業実践力の向上</u>を図る。</p> <p><b>【目標達成のための授業の方法】</b> 教員と学生、学生と学生の<u>インタラクション</u>を軸にして、<u>議論</u>を中心に学習を進める。学生は、必要に応じて<u>マイクロ・ティーチング</u>をする。教材は日本語で書かれたものと英語で書かれたものの両方を用いるが、<u>授業での使用言語は英語</u>である。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き」の研究</li> <li>2 前述の「手引き」を参照しながら、いくつかの英語のテキストについて学習到達目標を設定する（演習）。また、それらについてグループ A が発表し、議論を深める。</li> <li>3 前述の「手引き」を参照しながら、いくつかの英語のテキストについて学習到達目標を設定する（演習）。また、それらについてグループ B が発表し、議論を深める。</li> <li>4 前述の「手引き」を参照しながら、いくつかの英語のテキストについて学習到達目標を設定する（演習）。また、それらについてグループ C が発表し、議論を深める。</li> <li>5 前回までの授業で作成した学習到達目標を達成するためのタスクを各グループで作成する。また、それについてグループ A が発表し、議論を深める。</li> <li>6 これまで作成した学習到達目標を達成するためのタスクに関して、グループ B が、作成したタスクを発表し、議論を深める。</li> <li>7 これまで作成した学習到達目標を達成するためのタスクに関して、グループ C が、作成したタスクを発表し、議論を深める。</li> <li>8 設定した学習到達目標の実現状況を知るための妥当性のある評価方法（聞くこと、読むこと）について考え、発表する。</li> <li>9 設定した学習到達目標の実現状況を知るための妥当性のある評価方法（話すこと）について考え、発表する。</li> <li>10 設定した学習到達目標の実現状況を知るための妥当性のある評価方法（書くこと）について考え、発表する。</li> <li>11 授業実践の DVD（高等学校）を視聴して、議論する。</li> <li>12 授業実践の DVD（中学校）を視聴して、議論する。</li> <li>13 授業実践の DVD（小学校外国語活動）を視聴して、議論する。</li> <li>14 授業実践の DVD（高等学校）を視聴して、議論する。</li> <li>15 一年間で学んだことについて振り返り、次年度の目標も含めて発表する。または、文章にまとめる。教員は、それらに対して総括をする。</li> </ol>		
成績評価	1 議論や発表 2 学習の振り返り報告と指導案等の成果物		
使用教科書	学習指導要領、学習指導要領解説、CEFR 等		